

Course number		U-LAS05 20034 LJ31					
Course title (and course title in English)		南アジアの政治と社会 Politics and Society in South Asia		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Asian and African Area Studies Professor, NAKAMIZO KAZUYA	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Regions and Cultures(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Tue.4		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>南アジアは現在、大きく変化している。グローバル・サウスの代表格として注目を集めるインドでは、下層階層が政治権力を奪権する下剋上の時代を経たあと、ヒンドゥー至上主義者が中央政府を掌握し、少数派であるムスリムに対する迫害がやむことがない。21世紀に入って「テロとの戦い」の前哨となったパキスタンでは民主化は実現したものの、軍部が未だに強い影響力を保持している。このように南アジアは、民主主義と紛争・暴力の関係、民主主義と社会の平等化との関係、さらに多様性に富む社会における共生の可能性など、社会科学の重要な課題を考察する上で、貴重なフィールドを提供している。本講義においては、インド、パキスタンを中心とした南アジア地域研究を通じて、世界が直面する貧困、暴力、不平等、人類の共生といった重要な課題に取り組む手がかりを見つきたい。</p>							
[Course objectives]							
<p>南アジア世界に関する基本的な知識を身につけた上で、南アジア世界を超えて世界に存在する貧困や暴力、不平等、人類の共生といった重要な課題を考察する手がかりを得ることができる。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>基本的に以下の予定に沿って講義を進める。但し、それぞれの回が1回の講義で収まらないこともあるので、適宜修正しつつ講義を行う。</p>							
<p>第1回 「南アジアを学ぶ」 第2回 「イギリスの植民地支配」 第3回 「ガンディーの非暴力主義（1）思想」 第4回 「ガンディーの非暴力主義（2）実践」 第5回 「インド・パキスタン分離独立」 第6回 「【インド】政治制度と政党政治の展開」 第7回 「【インド】経済政策の展開」 第8回 「【インド】会議派システムの時代」 第9回 「【インド】アイデンティティの政治（1）カースト」 第10回 「【インド】アイデンティティの政治（2）宗教」 第11回 「【インド】宗教暴動」 第12回 「【インド】競合的多党制 / BJP主導システムの時代」 第13回 「【パキスタン】軍政と民主化」 第14回 「【国際関係】南アジアの国際関係」 第15回 定期試験</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to 南アジアの政治と社会(2)</div>							

南アジアの政治と社会(2)

第16回 フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

定期試験（100点）において評価する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

中溝和弥 『インド 暴力と民主主義 一党優位支配の崩壊とアイデンティティの政治』（東京大学出版会）（独立後のインド政治は、主にこのテキストに基づいて講義します。）

堀本武功・三輪博樹編著 『現代南アジアの政治』（放送大学教育振興会）（主に第3・8章を授業で講義します。）

そのほかの文献は、授業中に紹介します。

[Study outside of class (preparation and review)]

予習は特に必要ありません。ただし復習はきちんと行ない、わからない点があれば授業終了後に質問してください。

[Other information (office hours, etc.)]

オフィスアワーは特に指定しません。質問や研究相談などあれば、適宜受け付けます。授業後やメールで連絡をください。